

# 観光実態把握とマーケティングモデルケース造成事業

## 事業概要

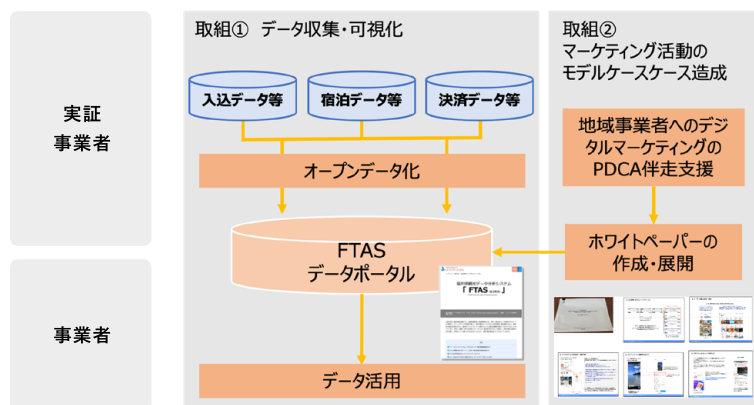
### 課題

令和4年度の実証事業では、福井県の来訪者に対してアンケート調査等を実施し、データの収集・分析を行い、「FTAS（福井県観光データ分析システム）」で公開し、データの見える化を実現した。しかしながら、地域におけるデータ活用を推進するためには、消費実態を把握するためのデータの不足、データ活用ができる人材不足という課題があげられた。

### 取組

本事業では、地域の宿泊状況を収集する「エリアPMS」を構築し、消費実態を把握するためのデータ収集を行い、FTASにてデータを可視化した。また、地域におけるデータ活用を促進するために、地域におけるデジタルマーケティング人材の育成に取り組んだ。県内の複数地域においてモデルケース造成を行うことで、それぞれの観光事業者がより高度なマーケティング活動を行い、福井県全体で「稼ぐ観光地づくり」を推進した。

## 実証事業における取組イメージ



## 目標と成果

### 目標

行政や観光事業者が、福井県における観光のデータをリアルタイムに把握でき、オープン化されたデータと自社の持つデータを活用して、より高度なマーケティングを行い「稼ぐ観光」を実現する。

### 成果

データのオープン化の推進やデジタルマーケティング人材の育成等の取組による売上の最大化やコスト削減の実現

旅行者の消費実態を把握するため、人流データ・宿泊データ・決済データ等を収集し、それらのデータをオープン化したことにより、福井県内の3エリアにおいてデータ活用が進み、生産性向上や売上増加に繋がった。県内10か所における地域内事業者への伴走支援を通して、デジタルマーケティング人材の育成を行い、データを活用できる人材が増加したことで、各事業者の売上増加等に繋がった。また、デジタルマーケティングの進め方や各種ツールの使い方等が記載されたホワイトペーパーを公開し、地域内へのノウハウ展開を行った。

項目	目標項目	目標値	実績
KGI	FTASのユニークユーザー数	3,000人	3,400人
KPI 取組① 観光実態を把握する上で不足している宿泊等の消費実態に関するデータの収集・可視化	新たなオープンデータセット数	6個	6個
KPI 取組② 県内複数地域におけるデータを活用したマーケティング活動のモデルケース造成	ホワイトペーパーの数	9個	10個

取組エリア:福井県 コンソーシアム名:福井県観光DX推進マーケティングデータコンソーシアム(代表事業者:ふくいヒトモノデザイン株式会社)